

## 【現代心理学部】2023年度入学者向け 履修要項（2023年度配付）訂正・変更一覧

(2024年3月19日時点 訂正・変更一覧)

\* 全学共通科目の訂正・変更については、以下の「全学共通科目 訂正・変更一覧」を確認すること。

**訂正**：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと ※冊子 PDF に赤字で訂正を反映しています

**変更**：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと ※冊子 PDF には反映をしていません

## &lt;2024年度中の訂正・変更箇所&gt;

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
3/19	2 3	変更	教務事項の伝達について	1 掲示 2 教務関連 Web サービス 3 緊急時連絡 4 教務窓口	各項目の掲載リンク、授業支援システムなどに変更が生じているため、この項目は <b>2024年度履修要項で確認すること。</b>
3/19	15	変更	I カリキュラムのしくみ 2 科目ナンバリングについて	2. 全学共通科目のナンバリング	<b>言語系科目のナンバリングに複数の追加・変更が生じているので、2024年度履修要項で確認すること。</b>
3/19	21 22 102 103	変更	II 授業（学習生活） 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	4 <b>授業形態</b> 5 休講 8 学校感染症に罹患した場合の措置について	「 <b>授業形態</b> 」など、項目の追加や修正が生じているため、この項目は <b>2024年度版の履修要項で確認すること。</b>
3/19	24	変更	III-1 履修規定（単位）	2 卒業要件単位	<b>以下の文言を追加</b> (3) 全授業回の半数を超える授業回を遠隔により実施する科目で修得した単位は、60単位まで卒業要件単位に含めることができる（遠隔授業60単位上限）。60単位を超えた単位は随意科目となり、卒業要件単位には算入されない。 履修中及び修得した遠隔授業の単位数は、成績参照画面で確認すること。 「遠隔授業60単位上限」の対象となる科目は、授業形態により定められる。授業形態については、 <u>II 授業（学習生活）</u> を参照
3/19	25 26	変更	III-2 履修規定(履修についての注意事項)	2 履修登録上限単位数	「 <b>&lt;全学共通科目の履修登録上限単位数&gt;</b> 」において、 <b>言語自由科目（英語）に関する記載を削除</b>

3/19	28	変更	III-2 履修規定(履修についての注意事項)	11 必修科目履修 辞退制度	「3. 申出方法」内の「 <b>(新座キャンパス教務事務センターで配付)</b> 」を削除
3/19	38	変更	V 履修登録	3 履修届出方法	「1. 自動登録」(2) ※部分について以下のとおり変更 全学共通科目言語 A (英語) ↓ <b>全学共通科目言語系科目</b>
					「3. 抽選登録」(2) ⑥部分について <b>全学共通科目言語自由科目 (英語) に関する記載を削除</b>
3/19	43-55	変更	VI 試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」、「口頭試問」、「レポート試験」、「追試験」に関することなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、 <b>この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</b>
	114-125		現代心理学研究科 博士課程前期課程 IV 試験・成績		
3/19	57	変更	VII 卒業に関する事項	5 特別卒業	「1. 特別卒業(9月卒業)とは」において <b>以下の文言を追加(赤字部分)</b> 3. 申請時において、在学8学期目以降の学生であること <b>ただし、在学学期数に関しては、法学部法学科法曹コースの対象学生については、在学6学期以降で足りるものとする</b>
3/19	59-63	変更	VIII 学籍・学費	2 休学・復学 6 再入学	「休学中の学費について」、「再入学とは」に複数の変更が生じているので、 <b>この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</b>
	129-132		現代心理学研究科 博士課程前期課程 VII 学籍・学費	2 休学・復学 5 再入学	
3/19	66	変更	IX グローバル教養副専攻	5 G副専攻のコース・テーマ	「2. Language & Culture Course」に <b>以下のテーマを新設</b> <b>9. Russian Language &amp; Culture</b> <b>選択した言語の技能を磨くとともに、ロシア語圏の文化や社会への理解を深める。</b>
3/19	75	変更	心理学履修規定	2. 選択科目 学科選択科目 A (演習)	<b>【変更前】</b> (3) ・前年度2月下旬にゼミ志望届心理学科教育研究支援室に提出する。 ↓ <b>【変更後】</b> (3) ・前年度1月下旬にゼミ希望届を提出する(提出方法については学科から追って連絡がある)。

3/19	86	変更	映像身体学科履修規定	2. 選択科目 学科選択科目B (専門演習)	【変更前】 (4) 選考通過者で履修初年度春学期を <u>休学</u> した場合は、選考結果が無効になるため、選考を受け直すこと。 ↓ 【変更後】 (4) 選考通過者で履修初年度春学期を <u>休学・休学留学・在学留学</u> した場合は、選考結果が無効になるため、選考を受け直すこと。
3/19	106	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 II 履修規定 <del>(単位認定 他研究科科目等の履修)</del>	1. 単位制度 2. 単位の考え方	項目名の変更(赤字部分の削除)および「1. 単位制度」「2. 単位の考え方」の項目追加 <b>2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</b>
	148		現代心理学研究科 博士課程後期課程 II 履修規定	1. 単位制度	「1. 単位制度」の項目を追加 <b>2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</b>
3/19	126 127	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 V 修士論文	6. 修士論文審査基準	「審査基準」において以下の文言の追加 <心理学専攻> 6. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること <臨床心理学専攻> 8. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること <映像身体学専攻> 6. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
	154		現代心理学研究科 博士課程後期課程 V 博士学位申請	5 博士論文審査基準	「審査基準」において以下の文言の追加 <心理学専攻> 7. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること <臨床心理学専攻> 7. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること <映像身体学専攻> 7. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
3/19	127	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 V 修士論文	7. 修了制作審査基準	「審査基準」において以下の文言の追加 6. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
3/19	127	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 VI 修了に関する事項	3. 特別修了	「3. 特別修了(特別修了(9月修了)(3月修了)申請条件)」において以下の文言の削除 TESOL-J

3/19	134	変更	心理学専攻 博士課程前期課程 Ⅰ 研究指導基本スケジュール	時期	「修士論文構想発表会」「修士論文提出」「修士論文口頭試問・発表会」の時期を修正したため、 <b>2024年度履修要項で確認すること。</b>
	138		臨床心理学専攻 博士課程前期課程 Ⅰ 研究指導基本スケジュール		「修士論文提出」「修士論文口頭試問・発表会」の時期を修正したため、 <b>2024年度履修要項で確認すること。</b>
	144		映像身体学専攻 博士課程前期課程 Ⅰ 研究指導基本スケジュール		「修士論文提出」の時期を修正したため、 <b>2024年度履修要項で確認すること。</b>
3/19	134 138 144	変更	心理学専攻 臨床心理学専攻 映像身体学専攻 博士課程前期課程 Ⅱ 履修規定	1. 単位制度	「1. 単位制度」の項目を削除
3/19	152	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅴ 博士学位申請	2 博士論文中間報告書【臨床心理学専攻・映像身体学専攻】	<p>【変更前】</p> <p>(5) 博士論文中間報告書の<u>受理・不受理の決定</u>は、現代心理学研究科 Web 掲示板で発表する。発表日時は、別に定める。</p> <p>(6) 中間報告書を<u>受理</u>された者は、博士（課程博士）の学位申請論文提出資格を得る。ただし、学位申請論文の主題や構想が中間報告書の内容と異なる場合は中間報告書を再提出し、審査を受けなければならない。中間報告書が<u>受理</u>された学期の翌学期から休学期間を含んで7学期目以降に学位申請論文を提出する場合も、原則として中間報告書を再提出すること。なお、審査の結果<u>受理</u>されなかった場合は、前回の提出から3か月以上を経過し、かつ、研究科委員会の許可があれば再提出することができる。</p> <p>↓</p> <p>【変更後】</p> <p>(5) 博士論文中間報告書の<u>受理後、審査結果</u>は、現代心理学研究科 Web 掲示板で発表する。発表日時は、別に定める。</p> <p>(6) 中間報告書が<u>承認</u>された者は、博士（課程博士）の学位申請論文提出資格を得る。ただし、学位申請論文の主題や構想が中間報告書の内容と異なる場合は中間報告書を再提出し、審査を受けなければならない。中間報告書が<u>承認</u>された学期の翌学期から休学期間を含んで7学期目以降に学</p>

					位申請論文を提出する場合も、原則として中間報告書を再提出すること。なお、審査の結果 <u>承認</u> されなかった場合は、前回の提出から3か月以上を経過し、かつ、研究科委員会の許可があれば再提出することができる。
3/19	153	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅴ 博士学位申請	3 博士学位申請	「1. 博士学位申請資格（「博士学位申請論文に関する現代心理学研究科申し合わせ」抜粋）」内の文言を以下の通り変更 【変更前】 【臨床心理学専攻】 博士論文中間報告書を提出して <u>受理</u> され、所定の単位を修得済みの者で、～ 【映像身体学専攻】 博士論文中間報告書を提出して <u>受理</u> され、所定の単位を修得済みの者で、～ ↓ 【変更後】 【臨床心理学専攻】 博士論文中間報告書を提出して <u>承認</u> され、所定の単位を修得済みの者で、～ 【映像身体学専攻】 博士論文中間報告書を提出して <u>承認</u> され、所定の単位を修得済みの者で、～
3/19	156 158 160	変更	心理学専攻 臨床心理学専攻 映像身体学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ 履修規定	1 教育課程	「1. 単位制度」の項目を削除
3/19	156	変更	心理学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ 履修規定	1 教育課程	「2. 所定単位（修了に必要な単位）」を以下の通り変更 【変更前】 心理学専攻の教育課程を修了するためには、 <u>下表に示す必要単位数</u> を修得しなければならない。 ↓ 【変更後】 心理学専攻の教育課程を修了するためには、 <u>現代心理学研究科博士課程後期課程心理学専攻選択科目から6単位以上</u> 修得しなければならない。
3/19	156	変更	心理学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ 履修規定	2 研究課程	「1. 研究指導について」内の「副指導教員の選定について、「研究計画書」に指導教員の氏名を、「副指導教員届」に副指導となることを希望する教員氏名を記入し、それぞれ定められた期間に心理学科教育研究支援室に届け出ることとする。な

					お、副指導教員の決定については、届出をもとに専攻において審議し、伝達することとする。」を削除
3/19	158	変更	臨床心理学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ 履修規定	2 研究課程	「1. 研究指導について」内の「副指導教員の選定について、「研究計画書」に指導教員の氏名を、「副指導教員届」に副指導となることを希望する教員氏名を記入し、それぞれ定められた期間に心理学科教育研究支援室に届け出ることとする。なお、副指導教員の決定については、届出をもとに専攻において審議し、指導教員から担当する学生に対して個別に伝達することとする。」を削除
3/19	160	変更	映像身体学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ 履修規定	1 教育課程	「2. 所定単位（修了に必要な単位）」を <b>以下の通り変更</b> 【変更前】 映像身体学専攻の教育課程を修了するためには、 <b>下表に示す必要単位数を</b> 修得しなければならない。 ↓ 【変更後】 映像身体学専攻の教育課程を修了するためには、 <b>現代心理学研究科博士課程後期課程映像身体学専攻選択科目から6単位以上</b> 修得しなければならない。

### <2023 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
5/18	22	変更	Ⅱ 授業（学習生活）	7 学校感染症に罹患した場合の措置について	提出する書類は、本学書式の「治癒証明書」または「診断書」とする（窓口交付の申請書は廃止）。 申請者には、各教務窓口にて配慮依頼文書を交付する（申請書および診断書もしくは治癒証明書のコピーを返却する対応の廃止）。
	103		授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）		
9/1	32 33	変更	Ⅲ 3 履修規定（単位認定）	4 入学前に修得した単位の認定 (3) 認定科目名・履修区分	<u>下線部</u> を追記 <全学共通科目> 全学共通科目として認定する場合は、科目名では表示せず、その内容から特定の履修区分に振り替えて認定する。 <u>ただし、本学で修得した科目については、本学の科目名で認定する。</u>

## 【全学共通科目】

2023年度1年次入学者向け履修要項(2023年度配付)訂正・変更一覧  
(2024年3月19日時点 訂正・変更一覧)

**訂正**：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと

**変更**：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと

## ＜2024年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
3/19	全3 全7 全8	変更	全学共通科目とは  総合系科目	9月入学者向けの補足事項	以下の文言（下線部分）を追記  9月入学者は、4月入学者と履修時期が異なる。 本文は以下のように読み替えること。 1年次春学期 → 1年次秋学期 1年次秋学期 → 1年次春学期 <u>* NEXUS プログラム生（異文化コミュニケーション学部を除く）は、上記の読み替えは不要</u>
3/19	全11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目 (F科目)	TOEIC → TOEIC®L&R  主に英語で行われるが、英語以外の外国語で開講する科目もある。その場合に求められる当該言語のレベルは別途定めるとい旨を追記。
3/19	全16	変更	履修登録上限 単位数	科目名変更	文章中の以下の科目名を変更 「海外インターンシップ1・2」 ↓ 「海外ワークエクスperiences1・2」
3/19	全34 ～ 全38	変更	言語系科目 自由科目	言語自由科目 カリキュラム改定	2024年度R Guide掲載の 「 <a href="#">言語自由科目 カリキュラムの改定について</a> 」を参照すること。

## ＜2023年度中の訂正・変更箇所＞ なし